## 初公開 蘇る『飛鳥美人』! 高精度の複製陶板で発見当時の色彩と質感を再現

奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館蔵品巡回特別展

## しきしまの大和へ

## 一アジア文華往来一

Ancient Yamato: A Glorious Narrative of Japan and Asian Civilizations

## 2020年4月21日(火) ~7月5日(日)

Tuesday 21 April to Sunday 5 July 2020

会 場 3階企画展示室ほか 観覧料 一般500円、小・中学生200円 Thematic Exhibition Gallery Admission: ¥500 for adults, ¥200 for primary and junior high school students

高松塚古墳石室西壁女子群像(写真)



## 横浜ユーラシア文化館

## 〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453

開館時間 9:30 a.m.~5:00 p.m. (券売は4:30 p.m.まで) 2020年5月30日(土)、6月6日(土)、8月8日(土)、9月21日(月·祝)、 は午後7:00まで開館(券売は6:30 p.m.まで)

休 館 日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は次の平日) 年末年始 (12月28日~1月3日) 他 2020年4月19日(日)は展示替のために2階常設展示室は休室します。

観覧料 一般200円、小・中学生100円 特別展・企画展の観覧料は別途定めます。

毎週土曜日は、小・中学生、高校生は無料です。

「身体障害者手帳」、「愛の手帳 (療育手帳)」、「精神障害者保健福祉 手帳」をお持ちの方と介護者は無料です。入館の際に手帳をご提示く

「濱ともカード」をお持ちの方は観覧料の減免制度(減額)があります。

## 12 Nihon Odori, Naka-ku, Yokohama, Japan 231-0021 Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453

9:30 a.m.-5:00 p.m. Hours

(Admission until 4:30 p.m.)

Open until 7:00 p.m.: 30 May, 6 June, 8 August, and

21 September 2020.

(Admission until 6:30 p.m.)

Mondays (except Holidays), Year-end/New Year's

recess (28 December to 3 January), 19 April and 7 May 2020.

Admission ¥200 for adults

¥100 for primary and junior high school students



JR「関内駅」南口・市営地下鉄「関内駅」 1番出口から徒歩約10分 Zero min. walk from Nihon Odori Sta

on the Minato Mirai Line 0 min, walk from Kannai Sta on the JR Line or Municipal Subway.

http://www.eurasia.city.yokohama.jp/

催し物案内



Dogu from West and East ギャラリートーク Gallery Talk 特別展「しきしまの大和へ」関連展示 くらべてみよう! Small Exhibition "Yokohama and Yamato", Related to the Special Exhibition "Ancient Yamato" 蔵品紹介 -常設展示室から-The YMEAC Collection: From the Permanent Exhibition Glass Perfume Bottle 2020年秋 企画展 小間嘉幸作品展(仮) 8 Koma Yoshiyuki Exhibition 蔵品紹介 -新収蔵資料-

9

10

**Exhibitions and Events** 

横浜ユーラシア文化館

The YMEAC Collection: Recent Additions

News from EurAsia No. 33 横浜ユーラシア文化館ニュース 第33号 2020年3月31日 企画・編集/横浜ユーラシア文化館 発行/(公財)横浜市ふるさと歴史財団 題字ロゴ/有限会社ボイドシステム 印刷製本/株式会社佐藤印刷所 禁無断転載 © 2020 Yokohama Museum of EurAsian Cultures

Dogu from West and East

## 西の土偶、東の土偶



正面

① 観音寺本馬遺跡出土土偶

奈良県立橿原考古学研究所蔵

2

高橋健 TAKAHASHI Ken

ぽかんと口を開けた表情が印象的な表 紙の土偶は、奈良県の観音寺本馬遺跡か ら見つかったもので、特別展「しきしまの 大和へ」の注目資料の一つです(①)。離 れて出土した左腕がくっついて、ほぼ完全 な姿に復元されました。もともと土偶は 壊れて見つかることが多いのですが、特 に土偶の数が少ない西日本では、頭から 足までそろう例は非常に珍しいのです。

顔の両側にあけられた二つの孔は、目の ようにも見えますが、耳(耳飾り)を表す と考えられています。その下の大きな円形 の凹みは口の表現です。胴体は板状で乳 房の表現や模様はありませんが、一部赤 色顔料が残っています。

この土偶の後ろ姿に注目してください。 立派なふくらはぎが強調されています。乳 房もなく逞しい足をもつことから男性十偶 だとする意見もありますが、性別を超越し た土偶だったのかもしれません。さらにお 尻の部分が丸く凹んでいるのが分かるで しょうか? 粘土紐をドーナツ状に貼りつ けたり、中央を凹ませたりするお尻の表現 が、近畿地方の土偶にはしばしばみられ ます。土偶というと顔や胸が注目されるこ とが多いのですが、お尻にも特徴がある のです。

観音寺本馬土偶は縄文時代晩期中葉の ものですが、同じころに東北地方北部で 作られたのが、あの有名な遮光器土偶で す(②)。観音寺本馬土偶とはいわば「同 級生」にあたりますが、中空に作られてい る点、巨大な目を誇張した顔の表現、全 身を埋め尽くす文様など、ずいぶん印象が 異なります。

遮光器+偶は東北地方の広い範囲に分布し ており、他の地域ではこれを真似た土偶も作ら れました。奈良県の橿原遺跡からは、中空土 偶の破片がいくつか見つかっています。坪井・ 大福遺跡から出土した土偶(③)の目は明らか に遮光器土偶の影響を受けていますが、開い た口や板状の作りは、観音寺本馬土偶と共通し ます。地元スタイルの十偶に、遠くで流行って いる遮光器土偶の表現を採り入れたのかもしれ

これらの土偶が作られた時期は、北部九州 で稲作が始まる直前にあたります。社会が大き く移り変わろうとする時期に、人々は十偶にど んな祈りを込めたのでしょうか?

今回の特別展に合わせて、横浜市域出土の 土偶を集めて展示いたします。ぜひ西の土偶と 東の土偶を見比べて、縄文人の願いに思いを 馳せてみてください。

The nearly complete clay figurine on the front page is a masterpiece of the special exhibition "Ancient Yamato." This dogu, or clay figurine of Jomon period, was excavated from Kannonjihonma, Nara Prefecture. This dogu belong to almost the same age as the famous shakouki-dogu, found at Kamegaoka, Aomori Prefecture in north-eastern Japan. The name shakouki comes from their big eyes, which resemble the snow goggles used by the northern peoples. A piece of dogu found at Tsuboi-Daifuku, not far from Kannonjihonma, has a similar expression of eyes. These dogu figurines were made at the middle Final Jomon period, immediately before the arrival of rice farming to Japanese Archipelago.



② 亀ヶ岡遺跡出土遮光器土偶のスケッチ (画:佐藤蔀、関根達人編2009『佐藤蔀考古画譜」』弘前 大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センターより転載)



③ 坪井·大福遺跡出十十偶 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

# 特別展「しきしまの大和へ」関連展示「くらべてみよう! よこはまと大和を」

Small Exhibition "Yokohama and Yamato", Related to the Special Exhibition "Ancient Yamato"

高橋健 TAKAHASHI Ken



① 称名寺I 貝塚出土土器 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター蔵

特別展「しきしまの大和へ」にあわせて、2階常設展示室では関連展示「くらべてみよう! よこはまと大和を」を開催します。特別展の展示品と横浜市域からの出土品や横浜ユーラシア文化館の所蔵品を「くらべてみよう」というコーナーです。

縄文土器は地域ごとに異なった顔つきの土器が作られますが、遠くの地域の影響を受けることもあります。縄文時代後期初めの横浜市金沢区称名寺貝塚の土器(①)は奈良県山添村広瀬遺跡の土器(②)と太い沈線で描かれた紡錘形のモチーフがよく似ています。称名寺貝塚から出土した土器の胎土を分析したところ、粘土は地元のものだったことが分かりました。西日本から土器作りの技術をもった人がやって来て作ったのだと考えられます。

弥生時代には、大陸系磨製石器と呼ばれる朝鮮 半島の影響を受けた石器が登場します。木を切り 倒したり加工したりする石斧(③)は、関東地方の 遺跡からも出土しますが、石材は東日本のものが



② 広瀬遺跡出土土器 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

使われています。近畿地方以西と違って、イネの 刈り取りに使われる石包丁(④)はほとんど出土し ません。

展示資料の奈良県宇陀市の後出7号墳から出土した三角板鋲留短甲(⑤) とよく似た甲冑(⑥) が横浜市青葉区にある朝光寺原1号墳から多数の鉄製武具とともに出土しています。各地の古墳から出土する甲冑は、当時の最先端の技術によって近畿地方で作られ、全国の有力者に配布されたと考えられています。

このように、よく似たモノが見つかる場合であっても、その背景にある現象はさまざまです。さらに横浜ユーラシア文化館の所蔵品とも比べると、どんな世界が見えてくるでしょうか?



③④奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵

Yamato, or Nara Prefecture today, had been a political and cultural center of ancient Japan. At the special exhibition "Ancient Yamato", we will exhibit the masterpieces from Yamato Province, Nara Prefecture today, excavated by the Archaeological Institute of Kashihara. At the same time, we are holding a small exhibition "Yokohama and Yamato." Here, we will introduce some archaeological materials excavated from these two areas, which looks like each other, but from different reasons.

The Late Jomon deep jar from Shomyoji Shell-mound in Yokohama (①) is decorated with teardrop shape motifs, which are common to the jar from Hirose in Nara (②). Based on the fabric analysis, it is assumed that people who came from western Japan to Yokohama made this type of pottery with local clay. The so-called "Continental" polished stone tools of Yayoi period (③④) are

thought to derive from the Korean Peninsula to western Japan. While the polished axes are also found from eastern Japan, including Yokohama, the stone reaping knife is lacking in this region. A cuirass made of triangular iron pieces riveted together (⑤), which was found from a kofun, or a burial mound, in Nara, is exhibited in this special exhibition. A cuirass of the same type was excavated from a kofun in northern Yokohama (⑥). Cuirasses of this type were produced in the Kinki region using the most advanced technology of that time, and were widely distributed to the local leaders.



⑤ 後出7号墳出土三角板鋲留短甲 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵



⑥ 朝光寺原1号墳出土三角板鋲留短甲 横浜市歴史博物館蔵

## The YMEAC Collection: From the Permanent Exhibition

蔵品紹介-常設展示室から-

## ガラス製香油瓶

Glass Perfume Bottle

竹田多麻子 TAKEDA Tamako

このようなガラス製の瓶は、紀元前6世紀から 吹き技法が登場する紀元前1世紀頃まで地中海 地域で生産され、広く流行しました。形はその当 時のギリシア陶器アラバストロンに似せていま す。初めは小型だったのが、徐々に大きくなり、こ の瓶はペットボトル500mlとほぼ同じ高さです。 瓶の中身は香油がいれられたとされ、左右に付い ている耳は穴に紐を通して瓶を吊り下げるための ものと言われます。

ガラスにもかかわらず瓶の青色が不透明に見 えるのは、ガラスを何重にも巻きつけるコア技法 を使用しているためです。この方法は、金属の棒 の周りに粘土などで容器内部の形となる芯 (コ ア)を作り、そこに柔らかくなったガラス棒を巻き 付けていき、ガラスが冷えたら中のものを取り出 して容器となります。

胴部に施されたジグザグの白い文様は、現在の ラテアートの模様の付け方と同じで、ガラスが温 かいうちに本体とは異なる色を巻きつけ、先のと がったもので上下にひっかくことで出来上がりま す。瓶の片側の表面が白くなっているのは、そこ だけ土と接していたために化学反応が起きたので しょう。

このコア技法は、吹き技法が登場する前に用い られていた最古のガラス技法の一つです。

> 紀元前5~3世紀 シリア 高 20.0 cm 径 5.5 cm 5th-3rd century B.C.E. Syria H. 20.0 cm D. 5.5 cm





This bottle has an interesting shape and is beautifully decorated. It was made by core-forming, one of the earliest glass-making techniques. The color of the body appears opaque blue because a transparent glass thread has been wound thickly around the core. The surface



トから



下から

zigzag pattern was created by scratching the surface with a sharp-pointed object in an upward and downward direction. This is similar to the method of making latte art. One side of the surface has turned white due to weathering.

Such core-formed vessels were widely produced and used in the Mediterranean region from the 6th to the 1st century B.C.E. This type of vessel derived its shape from the Greek alabastron, a ceramic container. The early core-formed container was small, but it gradually increased in size. This bottle is of the same height as a 500ml plastic bottle. It was probably used as a container for scented oil.

2020年秋 企画展

## Koma Yoshiyuki Exhibition

## 小間嘉幸作品展(仮)

小間嘉幸 (1929~2012) は東京で美術教師として教壇 に立つ傍ら、1970年代から30年にわたりシルクロードを 旅して、各地の風景やその土地の人々を描き続けました。 その中には、アフガニスタンのバーミヤン大仏やシリアの パルミラ遺跡のような戦乱によって今では目にすること ができない貴重な遺跡の姿もあります。力強いタッチで 描かれた作品からは、小間のシルクロードを描く情熱と そこに暮らす人々への温かいまなざしが感じとれます。

横浜ユーラシア文化館は2019年に小間の油彩画73点 の寄贈を受けました。この度、その一部を紹介し、スケッ チブックや、題材に関わる資料もあわせて展示します。 在りし日のシルクロードの姿をお楽しみください。

(竹田 多麻子)



マザリシャリフの巡礼



ガズニへの旅



パルミラ



杏咲く頃 1985年



莫高窟



「シルクロードの旅」とタイトルをつけた スケッチブック

北京 故宮 紫禁城



ムスタグアタ山

企画展「小間嘉幸作品展(仮)」は2020年10月3日(土)~12月27日(日)に開催します。

## The YMEAC Collection: Recent Additions [September 2019 to March 2020]

## 蔵品紹介 一新収蔵資料一

2019年9月から2020年3月までにご寄贈・寄託頂きました資料をご紹介します。ご寄贈・寄託いただきましたみなさま、 ご寄贈・寄託いただくに当たりご協力を賜りましたみなさまに篤く御礼申し上げます。なお、出版物につきましては、点数 が多いため本誌ではご紹介しておりません。整理が終り次第、熟覧に供する出版物はインターネットの目録に掲載し、学習 教材として受贈いたしました出版物は、2階展示室内ライブラリーでご利用いただいております。どうぞご活用ください。 ※ライブラリーの図書は入れ替えがありますのでご了承ください。(敬称略)

収蔵番号 YMEAC-19-0017~0025 周寬美旧蔵旗袍

点数 9点

地 域 横浜ほか

寄贈者 周慶錦

横浜 1960年代から1970年代 Qipao

Owned by Shu Hiromi Yokohama, 1960s to 1970s Donated by Shu Keikin

収蔵番号 一

## 魏光焔旧蔵毛皮付長衫

点 数 2点 地 域 中国

寄託者 魏徳夫

中国 1930年代から1940年代 Chinese men's wear Owned by Wei Guangyan China, 1930s to 1940s Deposited by Wei Defu



企画展 3F .....

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵品巡回特別展 しきしまの大和へ 一アジア文華往来一

Ancient Yamato: A Glorious Narrative of Japan and Asian Civilizations

## 2020年4月21日(火)~7月5日(日)

Tuesday 21 April to Sunday 5 July 2020

日本の古代史において政治と文化の中心地として栄えた 大和の国 (現在の奈良県域) には、都城の跡や古墳をはじ めとした埋蔵文化財が多数残されています。

この展覧会では、長年にわたって奈良県内の遺跡の発 掘調査や研究を行ってきた奈良県立橿原考古学研究所の 附属博物館が所蔵する名品の数々を、東アジア世界との 交流という観点から紹介します。日本列島に栄えた文化 は、つねにユーラシア大陸からの刺激や影響を受けなが ら発達してきました。大和の地から出土した縄文時代から 中世までの遺物を通して、いにしえのユーラシア大陸との 交流の歴史をご覧ください。

会 場 3階企画展示室ほか Thematic Exhibition Gallery

観覧料 一般500円 小・中学生200円 Admission ¥500 for adults.

¥200 for primary and junior high school students





(上)軒瓦 藤原宮跡

(下)特殊器台 葛本弁天塚古墳

関連企画

## トークショー

※事前申込制(有料)

## ようこそ! 土偶界へ

十偶女子・譽田亜紀子さんが、 めくるめく土偶の世界へ皆さんをご案内します。

場構浜市開港記念会館講堂

時 6月6日(土)14:00~16:00

登壇者 譽田亜紀子氏(土偶女子)×高橋健(当館)

定 員 250名

参加費 500円

※当日に限り聴講券で特別展に入場可 ※当日は特別展の開館時間を19:00まで延長しています



譽田 亜紀子氏

関連企画 ......

#### ワークショップ ※事前申込制(有料)

#### 銅鏡チョコを作ろう

会場 1階ギャラリー

日 時 5月16日(土)①10:00~、②14:00~

講 師 橋口豊(横浜市歴史博物館)

定 員 各回5名

参加費 2,000円

## 研究講座 ※先着順(有料)

#### 第1回「観音寺本馬遺跡出土の土偶 |

日 時 4月29日(水・祝)

講 師 高橋健(当館)

## 第2回「土器の動きと王権の誕生」

日 時 6月13日(土)

講 師 下釜和也(古代オリエント博物館)

時 間 14:00~(受付13:30~)※45分程度

会 場 1階ギャラリー

定 員 30名

参加費 各回500円

#### ※申込み方法

事前申込制のイベントやワークショップは、当館のホームページ からお申込みください。 ※定員になり次第、締め切ります。

#### ギャラリートーク

日 時 4月29日(水・祝)11:00~

5月5日 (火・祝)14:00~

5月17日(日) 11:00~

5月30日(土) 17:00~

6月14日(日) 14:00~

6月27日(土) 14:00~

※30分程度

参加費 特別展観覧料のみ

## ワークショップ

- ・高松塚古墳壁画の飛鳥美人になろう!
- ・打毬(古代日本のポロ)をやってみよう!

会 場 1階図書コーナー

日 時 企画展開催中の土曜日、日曜日、祝日 9:30~16:30(受付は16:00まで)

※諸事情により実施しない場合もあります。

## 関連展示

## くらべてみよう! よこはまと大和を

会 場 2階常設展示室(一部)

観覧料 常設展観覧料200円

※特別展観覧の方は無料

#### お知らせ ......

### イベント

## 横浜ユーラシア・スタチュー・ミュージアム

日 時 2020年5月30日(土)、31日(日)

横浜開港161年にちなんで地域を盛り上げる「ハマフェスY161」の 関連イベントに当館も参加します。横浜の街並みに出現するいろ いろなスタチュー(人間彫刻)を楽しめる第1回目のイベントです。 詳細は決まり次第、当館ホームページに掲載します。

協力:スタチューパフォーマンス協会

## 夜間開館日

日 時 5月30日(土)

6月6日(土)

8月8日(土)

9月21日(月・祝)

開館時間を19時まで延長します。展示をゆっくりとご覧下さい。 券売は閉館30分前まで。

学芸員が語る、月に一度、気軽に聴けてためになる45分

## 月イチ講座

時 間 14:00~(受付13:30~)※45分程度

会 場 1階ギャラリー

定 員 30名(先着順)

参加費 各回200円

2020.**7/11**(土) 『東方見聞録』を読む — 「山の老人」暗殺教団の話 …… 講師: 竹田多麻子

しゅりょうぎょろうぐ

8/22 (土) アイヌ文化の狩猟漁撈具 ……………………… 講師:高橋健

9/26 (+) 旗袍と横浜華僑 ―服の変化が語るもの ………… 講師: 伊藤 泉美

臨時休館のお知らせ

展示替えのため、2020年4月19日(日)常設展示室は休室いたします。